

入札説明書及び設計図書等に対する質問回答書

工事名：舗装補修大規模修繕工事(2025-2-神)			問合せ日：2025 年 4 月 7 日 回答日：2025 年 4 月 9 日
記載箇所	質問	回答	
1. P.6 特記仕様書3-14	1. 別途工事において、神S666の床版の部分打ち換えを実施するとありますが、技術提案で工程管理リスクを記載するにあたり、別途工事の工程についてご教授ください。	1. 神S666の床版の部分打ち替えについては、詳細工程を検討中のため、工程管理リスクの対象外としてください。	
2. P.6 特記仕様書3-15	2. 神S672付近において、本線上に設置されている機械設備の取替を別途工事で実施する可能性がありますとありますが、技術提案で工程管理リスクを記載するにあたり、別途工事の工程についてご教授ください。	2. 神S672付近における機械設備の取替については、詳細工程を検討中のため、工程管理リスクの対象外としてください。	
3. P.6 特記仕様書3-18	3. 神P703においては、舗装工事にて埋設ジョイントの補修を行うことを想定しているとありますが、伸縮継手補修工事で行うジョイント撤去および遊間調整での工程についてご教授ください。	3. 設計図番号36「埋設型伸縮継手部改良図（KA-50,遊間調整）参考図」の注記に示す通り、神上P703（第1走行）においては、本工事にて既設ジョイント撤去および遊間調整を行うことを考えています。上記を除くジョイント撤去および遊間調整の施工は伸縮継手補修工事で実施することを考えていますが、詳細工程については、契約後、監督員と打合せを行ってください。	
4. P.6 特記仕様書3-19	4. 神S672付近において、本線上に設置されている機械設備の取替を別途工事で実施する可能性がありますとありますが、技術提案で工程管理リスクを記載するにあたり、別途工事の工程についてご教授ください。	4. 上記番号2の回答のとおりです。 なお、「1-3_金額を記載しない設計書」3-15と3-19の記載内容に重複がありましたので、別紙-1のとおり、差し替えさせていただきます。	
	以上	以上	

2025年 4月 9日
阪神高速道路株式会社

入札公告資料の修正について

2025年3月3日付けで公告した舗装補修大規模修繕工事（2025-2-神）について、「1-3_金額を記載しない設計書_舗装補修大規模修繕工事(2025-2-神)」についての記載に齟齬がありましたので別紙1のとおり修正いたします。

以 上

1-3_金額を記載しない設計書
正誤表

正 誤 表

誤	正
3-15 通行止め期間中に神 S672 付近において、本線（上り）上に設置されている機械設備（本線軸重計）の取替を、別途工事で実施する可能性がある。実施する場合は、別途工事と工程調整すること。 3-16 通行止め期間中に若宮入路拡幅部の鋼床版デッキボルト補修を別途工事（保安全管理工事）で実施する可能性がある。実施する場合は、別途工事と工程調整すること。 3-17 若宮入路の料金所付近の舗装については、滞水対策で縦断調整しているため、施工時には高さ管理に注意すること。 3-18 神 P703 においては、舗装工事にて埋設ジョイントの補修を行うことを想定している。埋設ジョイント（遊間調整）の作業工程は別紙-3 のとおりとしている。また、施工時には高さ管理に注意すること。 3-15と重複のため、削除 3-19 通行止め期間中に神 S672 付近において、本線（上り）上に設置されている機械設備の取替を、別途工事で実施する可能性がある。実施する場合は、別途工事と工程調整すること。 3-20 工事に際して、他管理者との管理境界を確認の上施工すること。 3-21 アスファルト舗装の施工に際し、品質確保の観点から以下のとおり取り扱うこととする。なお、各取扱いについては、工事契約上の共通仮設費（率計上）の技術管理費とする。 番号修正 ① 受注者はアスファルト舗装工の施工後速やかに、アスファルト合材に係る受注者からプラント会社等へ発行する注文伝票、プラント会社等から受注者へ発行する納入伝票、及びプラント会社等において作成する混合物集計表が示された製造データについて、その写しを監督員に提出しなければならない。 また、事前に提出するアスファルト混合物及び混合物の材料に関する品質証明、試験成績表、及び試験練り等に関する試験データ等との照合を図ることとし、その照合の根拠となる資料についても併せて提出するものとする。 ② 監督員はアスファルト合材を納入しているプラント会社等に不定期に赴き、製造行程や製造データの状況について立会確認を行う場合がある。この場合、受注者は監督員の立会確認へ協力しなければならない。	3-15 通行止め期間中に神 S672 付近において、本線（上り）上に設置されている機械設備（本線軸重計）の取替を、別途工事で実施する可能性がある。実施する場合は、別途工事と工程調整すること。 3-16 通行止め期間中に若宮入路拡幅部の鋼床版デッキボルト補修を別途工事（保安全管理工事）で実施する可能性がある。実施する場合は、別途工事と工程調整すること。 3-17 若宮入路の料金所付近の舗装については、滞水対策で縦断調整しているため、施工時には高さ管理に注意すること。 3-18 神 P703 においては、舗装工事にて埋設ジョイントの補修を行うことを想定している。埋設ジョイント（遊間調整）の作業工程は別紙-3 のとおりとしている。また、施工タイプは遊間調整を考えているが、事前調査の結果にもとづき施工タイプの変更を監督員が指示した場合は、設計変更する 3-19 工事に際して、他管理者との管理境界を確認の上施工すること。 3-20 アスファルト舗装の施工に際し、品質確保の観点から以下のとおり取り扱うこととする。なお、各取扱いについては、工事契約上の共通仮設費（率計上）の技術管理費に含むものとする。 ① 受注者はアスファルト舗装工の施工後速やかに、アスファルト合材に係る受注者からプラント会社等へ発行する注文伝票、プラント会社等から受注者へ発行する納入伝票、及びプラント会社等において作成する混合物集計表が示された製造データについて、その写しを監督員に提出しなければならない。 また、事前に提出するアスファルト混合物及び混合物の材料に関する品質証明、試験成績表、及び試験練り等に関する試験データ等との照合を図ることとし、その照合の根拠となる資料についても併せて提出するものとする。 ② 監督員はアスファルト合材を納入しているプラント会社等に不定期に赴き、製造行程や製造データの状況について立会確認を行う場合がある。この場合、受注者は監督員の立会確認へ協力しなければならない。